

2020年6月18日

関係者各位

一般社団法人 日本ワクチン産業協会

## 一般社団法人 日本ワクチン産業協会の役員改選について

さる6月18日に一般社団法人日本ワクチン産業協会の総会（定時）が開催され、任期満了に伴う役員の改選が行われるとともに、理事長（新任）と常務理事（再任）が選定されました。新しい役員名簿（別添）をお知らせするとともに、新たに理事長に就任した  
今川昌之からごあいさつを申し上げます。

ごあいさつ

一般社団法人日本ワクチン産業協会  
理事長 今川 昌之

このたび、新たに、一般社団法人日本ワクチン産業協会の理事長に就任いたしました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、職務に精励したいと考えております。

さて、昨年度末から世界的な流行を見せている新型コロナウイルスは国際社会において人々の命を脅かすのみならず、リーマンショックを超える負の影響を世界経済にもたらし、感染症対策が如何に社会生活・社会インフラを維持するために重要であるかを再認識する機会となりました。奇しくも2018年はスペイン風邪のパンデミックから100年の節目の年であり、感染症対策の重要性を再認識したところでありましたが、当時と比較して医療や感染制御対策が目覚ましい発展を遂げた今日において、再びパンデミックが起こったことは青天の霹靂でありました。

一方、平時における感染症対策におきましては、2013年4月の予防接種法の改正、2014年3月の予防接種に関する基本計画策定、定期接種ワクチンの追加、風しんの追加的対策、国家検定の見直しなどにより、ワクチンを取り巻く制度や環境は大きく変わってまいりましたが、官民の連携とともに関係者の協力を得ながら進めて参りましたワクチンの供給と予防接種への取り組みが、わが国の感染症対策と公衆衛生の向上に寄与してきたものと考えております。感染症対策は言わば国防であり、その脅威から日本国民の健康・安全・財産を守るため、当協会は有効なワクチンの研究開発と品質・安全性の一層の確保、予防接種に必要なワクチンの安定供給を通じて真摯に取り組んで参りたいと考えております。

わが国のワクチン関係企業が集結する当協会は、昭和21年（1946年）設立の社団法人細菌製剤協会を前身とし、平成23年（2011年）9月に一般社団法人日本ワクチン産業協会となりました。感染症対策と公衆衛生の向上を担う重要なプレーヤーのひとつであ

るワクチン産業は七十年余の歴史と伝統を受け継ぎつつ、今日なお一層の発展を通して、国民のみなさまに優れたワクチンの恩恵が届けられるよう、また、ワクチンで防げる病気（VPD）はワクチンで予防する環境を一層推進できるよう、理事や会員各社とともに、誠心誠意尽力致す所存です。

みなさまのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

2020年6月18日

一般社団法人日本ワクチン産業協会 役員名簿

役職名	氏名	所 属
理事長 (非常勤)	今川昌之	武田薬品工業株式会社
常務理事 (常 勤)	植村展生	一般社団法人日本ワクチン産業協会
理 事 (非常勤)	丹澤 亨	第一三共株式会社
理 事 (非常勤)	中臣康雄	デンカ株式会社
理 事 (非常勤)	成瀬毅志	KMバイオロジクス株式会社
理 事 (非常勤)	張家 銘	グラクソ・スミスクライン株式会社
理 事 (非常勤)	村上誠一	一般財団法人阪大微生物病研究会
理 事 (非常勤)	諸岡健雄	MSD株式会社
監 事 (非常勤)	高橋義三郎	Meiji Seika ファルマ株式会社

[理事(非常勤)氏名は、五十音順]